



Washington 大学短期語学研修報告書

北海道教育大学札幌校
基礎学習開発専攻
立蔵有以

私は8月25日から9月16日までの約三週間にわたり、アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市での短期語学研修に参加してきました。そこでの研修プログラムや、ホームステイ先含むシアトルでの生活について報告いたします。



STEP Program

*クラス分けと先生

プログラム初日は、大学紹介用のムービーを使ったリスニングテストと先生との会話を通じたスピーキングテストの結果でクラス分けは行われました。私のクラス担任はクリスティーナという第二言語習得の研究をされている方でした。英語の他にドイツ語、トルコ語、フランス語、少しの日本語が話せて、言語を学ぶのが大好きな先生でした。またクリスティーナはおしゃべり好きで、日本に滞在していた時についたあだ名はカササギ。クラス内でもいつも明るく喋っていた印象しかありません。彼女のお陰で授業中の英語での発言、会話もしやすかったように思います。



(図書館)



(教室)

*授業内容

授業は、リスニングとスピーキングがメインになるような内容でした。友達を紹介したり、誕生日の祝い方や休日、デートなど様々な身近なトピックについてのディスカッションをしたり、トイストーリー1 英語版を英語の字幕付きで鑑賞したりしました。また、授業の一環としてたまたまシアトルで誕生日を迎えることになったクラスメイトの誕生日パーティーをしたり、シアトルセンターに行ってスペースニードルに登ったりちぶりのガラスアートを見に行ったりもしました。FinalProject では事前に行ったアメリカ人へのアンケートを元に、Holiday というテーマでプレゼンテーションを行いました。



(Birthday Partyの一部)



*自分への影響

アラブ人、神戸・東京・北海道と、出身地の異なる学生とのディスカッションは新たな発見が多く刺激を受けました。また、多様な考え方を知れただけでなく、確実にリスニング・スピーキング力が伸びたことを実感することもできました。



My Seattle Life

*初日の思い出

コミュニティハウスがステイ先だったため家には入れませんが、ほぼ丸二日間ホストファミリーに会うことができませんでした。ハウスメイトの男性が親切な人で、歩いて行ける距離で商店街がある場所への地図を用意してくれ、ルームメイトの女の子とふたりで初日から外食することになりました。びくびくしながらもたどり着いたのはフリモントという地区で、家から30分程歩いたところでした。なんとなく入った店はメキシコ料理のレストランで、メニューも読めない・チップもどうすればよいかわからないという中なんとか食事を終えました。飛行機での疲れにプラスして、緊張感でどっと疲れしました。しかし初日からたくさんの異文化に触れることができました。



(初日に食べたトルティーヤ)

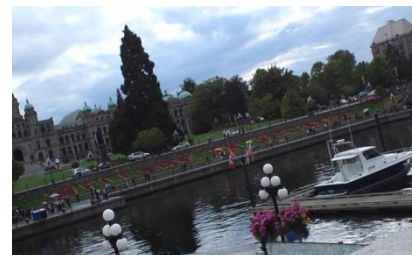
*放課後、自由時間の過ごし方（フィールドワーク・友達と・家族と）

毎週火曜日と木曜日は午後のプログラム、field trip がありました。ダウンタウンのバイクプレイスマーケットやベルビュースクエアモール、シアトル美術館、バラードロックス、船でバインブリッジアイランドに行ってお観光しつつ、地元の人々と会話をしたりとたくさんのアメリカ文化に触れてきました。その他の平日の放課後は友達と計画を立て、大学周辺や観光スポットに繰り出して、シーフードやスイーツを味わったり、お土産などの買い物をしたりして楽しみました。ホストファミリーはまだ小さい子供がいたので一緒に出かけることは少なかったですが、日曜の朝一緒に教会に連れて行ってもらったり、外で遊んだりムービーを一緒に観て英語の勉強をしたり、最後の週末にはディスカバリーパークへハイキングに行ったりして過ごしました。また、教育大からの何人かでチケットを手配して、フェリーでカナダのビクトリアへ旅行にも行ってきました。

時間とお金と体力の許す限りシアトルの街に出ている



(家族でハイキング。ビーチに到着)



(花とアフタヌーンティーのまち
ビクトリア)

んなものを見て、食べて、話して、感じて。家にいても子供達と遊んで、家事の手伝いをして、寝る前には英語でディズニー映画やドラマを見て。こうして常に英語やアメリカ文化を学びながら過ごしていました。

はじめは信号の渡り方、バスの乗り方すらわからない状態でしたが、約三週間でシアトルの街をある程度案内できるようになったと思います。ナチュラルスピードの世間話も少し聞けてしまうようになりました。

*シアトルの街

この時期は雨が少なく、日差しが当たると痛いくらいで、過ごしやすい気候でした。植物は北海道にあるのと同じものも見られ、驚いたのは道端に生えているモモやプラム、ブラックベリーが勝手に食べられるということです。シアトルの人々はみな親切で、道に迷ってもバスの乗り方がわからなくてもちゃんと教えてくれました。犬を飼っている家が多く、家族のように大切にしていました。治安は良い方だそうですが、夜はホームレスが増えたりして危険そうでした。夜のバスはなるべく運転手に近いところに座るようにしていました。

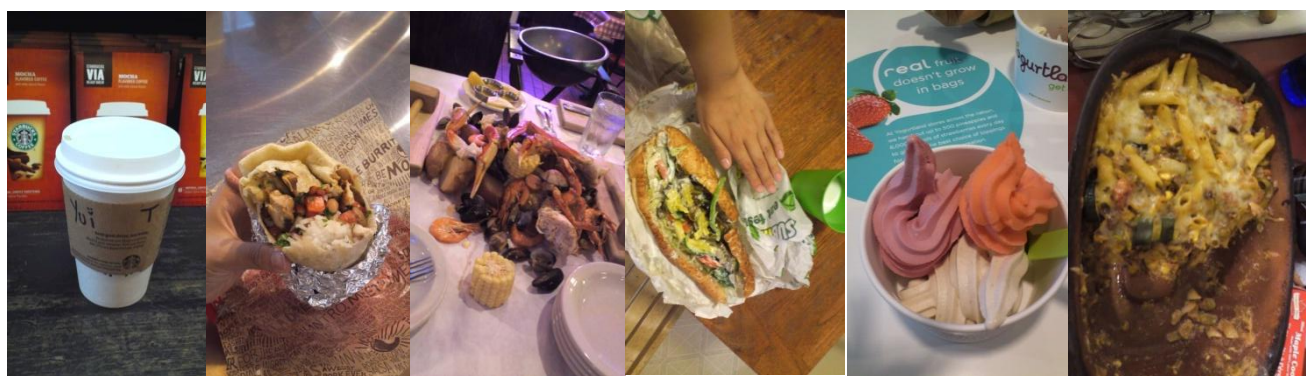
次回参加される方へ

約三週間という短い期間ではありますが、確実に英語力の伸びは実感できましたし、たくさんの異文化に触れることができ、本当に有意義な体験をすることができました。

体調管理をしっかりしながら、できる限り自分の部屋の外に出て家族と会話をしたり、近所を散歩したり、いろんな観光スポットを訪れたりして、一日一日大切に過ごしてください。三週間でどう過ごすかで、得られるものは大きく違ってくると思います。今しかできない体験をいっぱいして、楽しんできてください (^ ^)



(大学ロゴ前で集合写真)



(美味しかったものシリーズ...スターバックス一号店コーヒー、ブリトー、シーフード、ヨーグルトアイス、家のご飯)